

(1)学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
<p>学 習 指 導</p>	<p>中長期重点取組の1 総合学科の特性を生かしたきめ細かい学習指導を行い、学習習慣の確立と学力の向上に向けて取り組めます。</p> <p>(1)学習習慣の確立と学習意欲の向上を図る。 ・能力に応じた幅広い指導、学習意欲を高める指導、学力の底上げと向上 ・小テストや定期的な課題、提出物の期限厳守の徹底などにより学習習慣化を図る。 ・進学課外「いなべ特進塾」を確立する。 ・課外授業、補習と面談の充実、模試活用。</p> <p>(2)「産業社会と人間」「IVYタイム」におけるキャリア教育を通じた進路希望の実現</p> <p>(3)検定や資格取得の奨励を図る。</p> <p>(4)教員の資質向上と授業内容の改善を図る。</p> <p>(5)進路情報の提供。生徒・保護者との連携。</p> <p>(6)進学指導体制を充実し、国公立大学受験のべ15人以上、合格10名以上を目指す。</p> <p>(7)学校推薦就職内定率100%を目指す。</p> <p>(8)学習の場として図書館の有効利用を図る。 年間貸出数(5000冊以上) ・調べ学習の場としての活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力伸長のための各教科の取組を全体に共有した。進路選択のためのブロック表を見直し、教育課程・シラバスの検討をした。</li> <li>・家庭学習の習慣化のため、①各教科で宿題を課す、提出物の徹底、②予習復習の徹底、③小テストでの確認を行った。</li> <li>・英語・数学は習熟度別編成を行い、上位層・下位層への指導を工夫した。</li> <li>・特進塾3年目。1年次は教科により受講人数は違うが、15名前後の生徒が受講しており継続して指導する。2年次は国語・英語・数学を実施、13名前後の生徒が継続して取り組んでいる。</li> <li>・英語検定・漢字検定については学年通信などを活用し、積極的な受験を促した。</li> <li>・進路ガイダンス、分野別説明会、進路希望別保護者会(3年次3回、2年次2回)等を実施した。就職1次試験合格率96%(昨年90%)。集団討論への対策、学力の定着が今後の課題。</li> <li>・大学合格 124名(国公立合格1名)、短大35名、高等看護12名、専門学校等85名。</li> <li>・就職内定90名(学校斡旋82名、縁故家業等8名)</li> <li>・公務員合格 2名</li> <li>・授業での図書館利用定着化。貸出冊数は昨年並み。小論文に関する資料の充実が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の向上と家庭学習、特に学習内容の定着が課題。学力差が大きく、上位層の引き上げ、基礎学力の定着していない生徒への支援が必要。</li> <li>・「IVYタイム」「産業社会と人間」において外部講師を積極的に招聘することで、学習意欲の向上を図ることができた。</li> <li>・考える力の育成、プレゼンテーション力の向上、社会参画力の育成にむけて、</li> <li>・進路指導部を中心とした組織的な進学指導体制を進めた。さらに年次・教科と連携し、3年間継続した進学体制を充実させ、実績をあげていくことが必要。</li> <li>・学校推薦就職1次合格者の割合が向上。2年次からの就職対策、面接指導、希望者別のガイダンス等による成果。</li> <li>・生徒の進路希望や学力に合わせた積極的な取り組みを学校全体として徹底する必要がある。</li> <li>・図書館利用の活性化に向け更なる取組が必要。</li> </ul>

生徒指導	<p>中長期重点取組の2          基本的な生活習慣や規範意識の確立を図ります。          (1) 全職員で基本的な生活習慣や規範意識の確立にむけた指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会での講話、通信等の発行</li> <li>・学校生活調査、いじめアンケート等を通じた情報収集</li> <li>・年次・人権教育推進委員会・教育相談係との連携・協力体制の強化</li> <li>・問題行動をとった生徒への細やかな対応</li> <li>・生徒会との連携を強化し、生徒目線での学校改革を進める。</li> </ul> <p>(2) 年3回の人権学習を通じて人権意識を高め、自主自律の精神を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校集会での講話、「生指だより」、昇降口指導等により基本的な生活習慣に関わる指導のほか、挨拶・みだしなみの指導も、学年と連携して全職員で取り組んだ。</li> <li>・9月に実施した「いじめアンケート」では、年次・部顧問と連携し適切に対応。2月にも学校生活調査を実施し個々の生徒の状況を把握し適切に対応。</li> <li>・学校だけで対応が難しい事案については、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの専門家の活用を進め、必要に応じて年次・分掌などの関係者の会議を開いて対応した。</li> <li>・生徒会執行部との話し合いをもった。自動販売機の販売時間の変更、服装規定の改定等にむけて検討が進んだ。</li> <li>・人権学習(各年次1回は授業を公開)に取り組んだ。指導案の検討を行い、自分たちで気付ける学習に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員の共通理解のもと指導に当たれるよう、情報共有に努めることができた。頭髪服装指導・ものを大切にす心の指導に力を注いだ。挨拶については、自然に挨拶ができるころまでは至っていないが、雰囲気作りは徐々にできている。</li> <li>・昨年、登校途中の生徒が交通事故で死亡した。全校集会での講話・朝の登校指導、PTA や警察とも連携して交通安全指導を徹底する。</li> <li>・学年主任と生徒指導主任との定期的な会議の開催、生徒指導委員会での情報共有や対策の検討などに取り組む。</li> <li>・生徒指導部・特別支援・教育相談との連携・協力を進めることができた。専門家の効果的な活用を図る。</li> <li>・問題行動後の指導に効果が出ている。</li> <li>・人権学習に生徒はよく取り組んだ。</li> </ul>
特別活動	<p>中長期重点取組の3          部活動・生徒会活動の一層の活性化、健康教育、心の教育の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や部活動の活性化</li> <li>・保健だより、文化祭での展示で啓発する。</li> <li>・環境美化を推進する。</li> <li>・生徒の自主性・自治能力を高める。</li> <li>・保健部と教育相談が連携し心の相談に対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レスリング・陸上部がインターハイに出場、レスリング・女子バスケットボールが国体に、野球・女子バスケットボール・陸上・体操・水泳・剣道・ゴルフ、ソフトボール、卓球が東海大会に出場するなど、多くの部活動が好成績を残した。</li> <li>・体育大会、文化祭実行委員を組織し、生徒会役員だけではなく組織的・機能的に行うことができた。生徒会を中心に率先した取り組みを行い、例年より服装違反等が少なく、生徒主体で取り組むことができた。</li> <li>・文化祭で保健環境委員が積極的に取り組み展示発表をした。献血模擬体験に約100人が参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会・文化祭において、ルールを守って取り組み、また、準備・企画・運営に多くの生徒が参加して生徒会行事を盛り上げることができた。</li> <li>・ゴミの分別についてさらに啓蒙活動を充実させる。</li> <li>・保健部、教育相談、生徒指導部が連携した、生徒の心の悩みの相談に対応できるよう、教員研修、ケース会議の開催を進める。</li> </ul>

開かれた学校づくり	<p>中長期重点取組の4 保護者や地域との信頼関係の構築を図り、開かれた学校を目指します。</p> <p>(1) 新たな教育課題への対応を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新テストに向けた研究と準備を進める。</li> <li>・教職員の研修を充実する。</li> <li>・校内ネットワーク・校務処理システムの安定した運用に向けて改善策を検討する。</li> </ul> <p>(2) 保護者・地域へ情報発信を積極的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開、HPの充実</li> <li>・メール配信保護者登録率の向上</li> </ul> <p>(3) 地域貢献・地域開放の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座『学びのプラザ』の充実。</li> </ul> <p>(4) 学校周辺の校外清掃を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高大接続改革ワーキング、主権者教育ワーキングを立ち上げ、先進校視察、年間計画の作成、教員研修などを進めました。</li> <li>・中学生対象学校公開夏と秋実施 夏の学校見学会・生徒(997名)・保護者(189名)計1186名(昨年969名)の参加。 秋の学校説明会・生徒412名・保護者73名の参加。</li> <li>・絆ネット登録率、保護者はほぼ100%。毎月学校行事連絡と緊急時の連絡実施。</li> <li>・HPをリニューアルし、見やすさと検索のしやすさを向上させた。月1回の更新。</li> <li>・地域開放講座『学びのプラザ』は「エクセル入門」「ボードウチング」「篆刻」「メロンパン」を開講。受講者は増加。</li> <li>・9月に3年、12月に1年、3月に2年が校外清掃を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校紹介パンフレット『IVY通信』を通して、本校の特徴や状況、前期選抜の実施方法などが周知できた。</li> <li>・絆ネット(メール配信)で、緊急時の連絡体制整備。今後更なる生徒の登録率の向上と定期的な情報発信が課題。</li> <li>・中学生への学校説明会は、夏季(1日2回実施)と秋(公開授業)の継続。</li> <li>・進路別・学年別の保護者説明会については、出席率も高く、今後も継続して実施。</li> <li>・地域開放講座は、地域への広報が課題。保護者へも広報して募集。</li> <li>・各学年毎の生徒全員による校外清掃を今後も実施。</li> </ul>
学校経営品質等	<p>中長期重点取組の5 学校組織の改善と組織力の向上を図ります。</p> <p>(1) 危機対応の強化と安心・安全な学校づくりを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災体制の強化</li> <li>・情報管理の強化</li> </ul> <p>(2) 働きやすい職場づくりを図る。 校内分掌等の連携と情報交換、情報収集</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の防災体制等を見直し、HRにて避難訓練及び防災教育年間2回実施。</li> <li>・校内備蓄(食糧・水)を整備した。</li> <li>・ネットワーク上の大きなトラブルなく安定稼働できた。県ファイルサーバー導入に伴いその運用方法の検討が必要。</li> <li>・各種校内研修会とその他オフサイトミーティング実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災体制の強化と各種訓練の取り組みが重要。生徒・職員の意識改革も不可欠。</li> <li>・県の「総合認証システム」等新たな対応が課題。</li> <li>・校内研修への参加率の向上が課題。校内研修のテーマ・日程等、充実への検討が必要。</li> <li>・保護者アンケート・生徒満足度調査・教職員満足度調査の結果から課題の洗い出しと改善にむけた具体的な方策の検討。</li> <li>・関係部が情報交換や意見の調整、連絡を密にして進めたが、一層の情報共有、連絡の徹底など連携を進めていく。</li> <li>・会議資料の事前配布による会議時間の短縮に努めた。さらに進めることが必要。</li> </ul>

## (2)組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強 み	<ul style="list-style-type: none"><li>・北勢地区唯一の総合学科高校として、総合学科の特色を生かし、多様な進路希望をもつ生徒に対して、進学・就職それぞれ多くの進路情報を伝え、多様な進路選択を可能にしている。</li><li>・生徒及び保護者アンケートによると、本校の恵まれた施設・設備に最も魅力を感じており、続いて部活動・自由な雰囲気・資格取得となっている。</li><li>・「学校へ行くのが楽しみ」「この学校へ来てよかった」「友人から良い刺激を受ける」と回答した生徒が8割を超えており、子ども同士の関係の良さ、基本的な生活習慣が身についている生徒が多いこと、授業規律があることが本校の魅力である。</li><li>・校内における情報設備が整っており、ネットワークを利用した高度な学校運営が可能である。</li></ul>
弱 み	<ul style="list-style-type: none"><li>・進学・就職ともに進路実現に向けて、個々の生徒の能力の引き上げが課題である。生徒一人一人のデータについて、特に必要な情報は教職員が共有し、学校全体で支え、指導する体制を創意工夫していくことが必要である。</li><li>・学校の教育活動の理解や支援を得るために、保護者や地域に向けての積極的な発信が必要である。</li></ul>

## (3)学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等	
<実施回数> 3回	
実施内容	<p>第1回(6月25日)・・学校の概要について、昨年度の評価委員会評価結果と今年度の学校経営の改革方針について、人権教育推進計画について、教職員との意見交換、授業見学</p> <p>第2回(11月25日)・・総合的な学習の時間(IVYタイムⅡ)の発表見学、学校経営の改革方針今年度の重点取組の中間報告、保護者アンケート結果報告、生徒会役員との意見交換</p> <p>第3回(2月23日)・・生徒・教職員アンケート調査結果報告、今年度の取組の成果と課題について、学校関係者評価委員による評価</p>

#### (4) 学校関係者による評価結果

##### 学校関係者評価から明らかになった改善課題

##### 関係者評価

- ・ 部分ではうまくいっていないことがあるかもしれないが、今のいなべ総合学園の改革方針は全体最適でうまくいっていると思う。自信をもって今の方向性をもち進めていただきたい。
- ・ 三重県の教育振興ビジョンや教育施策大綱にもあるように、大切なことは「自己実現と社会の発展に貢献できる力の育成」だと考えます。そのことを考えると、改革方針のなかで、社会の発展に貢献できる力の育成をもう少し入れてはどうかと思います。具体的には、キャリア教育の部分で扱う課題に、現代の課題（少子高齢化、環境、経済の二極化、地方創生、参政権、グローバル化）に向けて、若者らしい課題意識をたかめることが大切だと思います。
- ・ 各取り組みともきめ細やかな指導要綱のもと行われていて先生方のご苦勞に敬意を表します。
- ・ いなべ総合学園高校が生徒からも保護者からも総じて高い満足度が得られていることは学校の誇りと考えています。
- ・ 特別支援教育の理論なしに教育はできない。教員研修を深めてほしい。
- ・ 学校から一步外へでると道一杯に広がって歩いている様子を見る。校内だけできるのではなく、校外でも自律ある行動がとれるキラッと光るものを教えてほしい。
- ・ 基本的に生徒の元気ときちんとした挨拶は素晴らしいと感じた。しかし、学力の格差も否めないものがあり、1年次からの基礎学力向上に向けた指導が必要ではないか。進学課外「いなべ特進塾」はよいと思うが、部活動との両立が困難であれば、保護者と生徒を交えて慎重に判断をしてもらう機会を設ける必要がある。・ 全ての項目に数値目標を明確化し達成度を評価する必要がある。
- ・ 校内WIFI環境を整備し、進学・就職指導内容など生徒に必要な情報を自由にみられるeラーニング的なサイトをHP内に開き(個別アクセスパス設定)アクセス状況から指導体制をととのえてみてはどうか。

#### (5) 組織力向上のための取組(改善策)

##### 次年度に向けた取組

- ・ 研修については、教科指導も専門的になるため、共通事項として、グループワークの活用や討論の活性化、あるいはルールとリレーションの育成といった教科枠を超えた内容に設定していくことも一つの方法。若手教員が互いに研修し、授業改善や自分の重点課題を意識した取組に繋がるような場づくりを進める。新テストに向けた対策として、生徒の主体的・能動的な学習を進めるために、アクティブラーニング型の授業の研究やテスト問題の研究などへの取組について検討を進める必要がある。
- ・ 進路指導部を中心とした組織的な進学指導体制を構築することができた。さらに年次・教科と連携し、3年間を見通した継続した進学体制を充実させ、実績をあげていく必要がある。新テストに向けた対策について、具体的な取組を進める必要がある。
- ・ 分掌や年次間の連携をより密に行い、学校運営の円滑化を図る。学年主任と生徒指導部・管理職との情報交換のための会議を定期的に行う。また、教職員間の情報の共有化を図り、生徒の進路希望のさらなる実現を図る。
- ・ 処務規定や業務内容のマニュアルにもとづき、分掌内での連携やスムーズな引継ぎを行い、業務の効率化・質的に効果の高い運用ができるようする。
- ・ 学校のあらゆる教育活動に対して、保護者や地域からより一層の協力と支援が得られるよう、幅広い情報発信力の向上に努める。

